

| | | |
|----------------------------------------------|---------|-------|
| コース名 | ユニット科目名 | 対象学年 |
| 公衆衛生社会医学 | 予防医学 | 4 |
| 開講学期 | 科目責任者 | 副責任者 |
| 1・2学期 | 勝山 博信 | 高尾 俊弘 |
| 一般目標 [G10 (General Instructional Objective)] | | 全体資料 |
| | | 無 |

- 健康に及ぼす要因を個人レベルではなく、集団レベルでの問題として捉え、社会医学的手法を用いて解析し、対処する方法を理解する。
- わが国の公衆衛生および予防医学の現状と問題点を把握し、その対策へのアプローチを理解する。
- 我が国の社会保障制度を理解し、社会と医療の関わりについて理解する。
- 見学実習を通して医学生並びに医師に必要な知識・態度・行動を身につける。
- 臨床医として必要なカルテの書き方を身につける。

行動(到達)目標 [SBOs (Specific Behavioral Objectives)]

- 公衆衛生および予防医学の意義を説明できる。
- 診療情報と諸証明書について説明できる。
- 薬事について説明できる。
- 主な生活習慣病の現状、リスク要因、予防対策について説明できる。
- 患者の人権と医の倫理、死の概念について説明できる。
- 保健・医療・福祉の資源について説明できる。
- 社会保障制度と医療経済について説明できる。
- 医療の質と安全の確保、医師法と関係法規について説明できる。
- 人口統計、疾病・障害統計について説明できる。
- 医療経済について説明できる。
- 予防医学について関連する資料に文献的考察を加えて説明することができる。
- 健康の定義、健康障害の要因、健康の保持増進方法等を説明できる。
- 母子保健の概要(意義、対象、現状、対策等)、母体保護、人類遺伝学等の概要を説明できる。
- 障害者福祉、国際保健について説明できる。
- 高齢者の現状、老人保健福祉と介護保険制度について説明できる。
- 疫学概念、手法、指標の意義等について説明できる。
- 精神障害者の現状、保護・医療・福祉について説明できる。
- 診療録に関する法律や記載法について説明できる。
- 学校保健の概要(意義、対象、現状、対策、行政等)を説明できる。
- 保健・医療・福祉・介護関係の施設、産業現場の見学実習を通して、見学者、医学生、医師に必要な人間性及び態度を身につけ、適切に行動できる。

授業計画

| 回数 | 月日 | 曜日 | 時限 | 区分 | 担当者 | 所属 | 授業内容 | コアカリ項目 |
|-------|------|----|-----|----|-------------------------|------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 1 | 4/1 | 水 | 6 | 講義 | 大槻 | 衛生 | 見学実習の心得(全員出席し、心得を修得すること:欠席の場合、見学実習自体への参加が不能となる[=欠点となる])・e-Testingデモ | B-(1)-2, B-(1)-3 B-(2)-1, B-(2)-3 B-(5)-4 |
| 2 | 4/9 | 木 | 1 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 患者の人権と医の倫理 | A-1-(1), A-1-(2) B-(1)-G |
| 3 | 4/9 | 木 | 2 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 医療の質と安全の確保 | B-(5)-5, B-(5)-7 B-(5)-13 |
| 4~6 | 4/15 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 | 衛生 | 見学実習1回目 | B-(1)-2, B-(1)-3 B-(2)-1, B-(2)-3 B-(5)-4 |
| 7 | 4/22 | 水 | 3 | 講義 | 佐藤友 | 健康管理 | 国際疾病分類、世界と我が国の死亡の状況 | B-(4) |
| 8 | 4/28 | 火 | 6 | 講義 | 秋山祐 | 医療資料 | 薬事 | B-(8)-6 |
| 9~11 | 5/20 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 | 衛生 | 見学実習2回目 | B-(1)-2, B-(1)-3 B-(2)-1, B-(2)-3 B-(5)-4 |
| 12 | 5/28 | 木 | 1 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 医師法と関係法規 | B-(5)-7, B-(5)-8 |
| 13 | 5/28 | 木 | 2 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 死と終末期ケア | E-7-1, E-7-2 E-7-3, E-7-9 |
| 14~16 | 6/10 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 | 衛生 | 見学実習3回目 | B-(1)-2, B-(1)-3 B-(2)-1, B-(2)-3 B-(5)-4 |

| | | | | | | | | |
|-------|-------|---|-----|------|-------------------------------|--------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------|
| 17 | 6/15 | 月 | 3 | 講義 | 佐藤友 | 健康管理 | 主要死因の推移と現状 | B-(3)-2, B-(3)-3) |
| 18 | 6/25 | 木 | 3 | 講義 | 秋山祐 | 医療資料 | 高齢者の現状と医療、福祉 | B-(5)-3) |
| 19 | 6/30 | 火 | 3 | 講義 | 作田 | リウマチ | カルテの書き方 | B-(7)-1), B-(7)-2) B-(7)-3), B-(7)-6) |
| 20 | 7/7 | 火 | 3 | 中間試験 | 勝山・高尾 山中 | 公衆衛生 健康管理 | 中間試験 | |
| 21~23 | 9/2 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 河原 | 衛生 非常勤/ 附属病院 | 見学実習 4 回目 | B-(1)-2), B-(1)-3) B-(2)-1), B-(2)-3) B-(5)-4) |
| 24 | 9/4 | 金 | 3 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 障害者福祉、国際保健 | B-(1)-2), B-(5)-6) |
| 25 | 9/7 | 月 | 3 | 講義 | 佐藤友 | 健康管理 | 生活習慣病と保健対策 | B-(4) |
| 26 | 9/9 | 水 | 1 | 講義 | 山中 | 健康管理 | 社会環境の変動、人口統計 | B-(3)-1), B-(3)-6) |
| 27 | 9/9 | 水 | 2 | 講義 | 山中 | 健康管理 | 母子保健の現状と動向 | B-(2)-3) |
| 28 | 9/11 | 金 | 1 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 診療情報と諸証明 | B-(7) |
| 29 | 9/11 | 金 | 2 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 死亡診断書と死体検案書、異状死、 診療関連死、死後変化 | B-(6) |
| 30~32 | 9/16 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 市川 | 衛生 非常勤/ 附属病院 | 見学実習 5 回目 | B-(1)-2), B-(1)-3) B-(2)-1), B-(2)-3) B-(5)-4) |
| 33 | 9/25 | 金 | 3 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 医療法 | B-(5)-7) |
| 34 | 9/28 | 月 | 3 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 医療施設、医療従事者、チーム 医療、保健・医療・福祉の連携 | B-(5)-7), B-(5)-10) |
| 35~37 | 9/30 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 河原 | 衛生 非常勤/ 附属病院 | 見学実習 6 回目 | B-(1)-2), B-(1)-3) B-(2)-1), B-(2)-3) B-(5)-4) |
| 38 | 10/2 | 金 | 1 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 疾病・障害統計 | B-(3)-3) |
| 39 | 10/2 | 金 | 2 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 公衆衛生と予防の考え方・健康 保持増進 | B-(1)-1), B-(1)-6) |
| 40 | 10/6 | 火 | 1 | 講義 | 秋山祐 | 医療資料 | 社会保障の概念、社会保障制度 | B-(5)-1) |
| 41 | 10/6 | 火 | 2 | 講義 | 秋山祐 | 医療資料 | 医療保険と公費医療、医療経済 | B-(5)-2), B-(5)-6) |
| 42 | 10/15 | 木 | 1 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 疫学と疫学指標 | B-(3)-3), B-(3)-4) |
| 43 | 10/15 | 木 | 2 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 疫学的研究方法 | B-(3)-6), B-(8)-4) |
| 44 | 10/16 | 金 | 1 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 21 世紀における国民健康づくり 運動(健康日本 21) | B-(1)-2), B-(1)-7) B-(1)-6) |
| 45 | 10/16 | 金 | 2 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 疫学と EBM | B-(8)-5), B-(8)-6) |
| 46~48 | 10/21 | 水 | 4~6 | 実習 | 大槻・西村泰 吉留・武井 松崎・李 河原 | 衛生 非常勤/ 附属病院 | 見学実習 7 回目 | B-(1)-2), B-(1)-3) B-(2)-1), B-(2)-3) B-(5)-4) |
| 49 | 10/22 | 木 | 3 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 介護保険制度 | B-(5)-2) |
| 50 | 10/23 | 金 | 1 | 講義 | 高尾 | 健康管理 | 学校保健 | B-(2)-3) |

| | | | | | | | | |
|----|-------|---|---|----|----|------|-----------|----------|
| 51 | 10/23 | 金 | 2 | 講義 | 勝山 | 公衆衛生 | 精神保健福祉 | B-(2)-3) |
| 52 | 11/ 4 | 水 | 2 | 講義 | 山中 | 健康管理 | 母子保健制度 | B-(2)-3) |
| 53 | 11/ 4 | 水 | 3 | 講義 | 山中 | 健康管理 | 母体保護、胎児障害 | B-(2)-3) |

評価方法

[定期試験]80% (中間試験はマークシート、本試験、補充試験はe-Testingの予定である。補充試験の対象者は中間試験、本試験、見学実習評価が加味された総合評価で、60点未満の学生とする。補充試験の結果には、見学実習評価は加えない。)

[実習点]15% (見学実習に正当な理由無く欠席した場合は、欠点とする。見学実習の評価の比率は、おおよそ15%程度と考えているが、研修態度等で変更する場合もある。)

[出席状況(受講態度)]5%

教科書

ISBN-9784896325508, サブノート 保健医療・公衆衛生 2015, 医療情報科学研究所(編集), メディックメディア, 2014/10/17

参考書

ISBN-4910038540842, 厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2014/2015, 厚生労働統計協会(編集), 厚生労働統計協会, 2015/01/09

ISBN-9784524263158, NEW 予防医学・公衆衛生学 (Nankodo's essential well-advan), 岸 玲子(編集)・大前 和幸(編集)・小泉 昭夫(編集)・古野 純典(編集), 南江堂, 2012/04

ISBN-9784260007733, 標準公衆衛生・社会医学(標準医学シリーズ), 岡崎 勲(編集)・小林 廉毅(編集)・豊嶋 英明(編集), 医学書院, 2009/03/01

ISBN-9784895927918, 臨床研究マイスターへの道 医科統計学が身につくテキスト, 杉森裕樹(翻訳), メディカルサイエンスインターナショナル, 2014/12/01

ISBN-9784895927833, 医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学のアプローチ 第4版, 木原雅子(翻訳), 木原正博(翻訳), メディカルサイエンスインターナショナル, 2014/09/01

予習・復習

予習: シラバスを参考に授業内容に対応する教科書のページを読んでおくこと。見学実習に際しては見学先の情報を収集し、予習して積極的に質問すること。

復習: 膨大な範囲であるので、単なる暗記で終わらせないように講義が終了する毎に復習して理解を深めておくこと

講義についての注意事項

- ・途中退席は認めない。やむを得ず退席する場合は講義担当者に理由を述べ、確認を受けてから退席すること。その後、帰室しない場合は欠席とする。

- ・見学実習においては態度、服装、身嗜み、集合その他総合的に評価する。将来医師となる者として、保健医療・公衆衛生・衛生等に、必須の施設の見学であること、また、先方の施設の方々には、医学教育に多大なご理解を頂き、ボランティアで参画いただいていることを良く弁え、しっかりと学習すること。質問なども積極的に行うこと。

- ・e-Testing(デモ含む)にはネットワーク利用承認書に記載のID・PWが必要となるため、各自確認しておくこと。

オフィス・アワー、連絡先

毎週水曜日 17:00~18:00

メールの場合は時間に関係なく連絡可能である。

勝山 katsu@med.kawasaki-m.ac.jp

高尾 takaot@med.kawasaki-m.ac.jp